

令和4年度 行政評価調書

■ 施策の概要

(第7次総合計画 基本計画 P.96～97)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)		
施策名	3-2 水産業		
所管部	産業港湾部	関係部	なし
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	<p>(第7次総合計画 基本構想 P.38)</p> <p>つくり育てる漁業や適切な水産資源の管理を進め、豊かな海を再生し、水産物の安定供給を図るとともに、本市の魅力のひとつである「地魚や水産加工品」の付加価値向上を図り、水産業の持続的な発展を目指します。</p> <p>このため、漁場環境の保全、栽培漁業の技術向上、後継者育成等に努めるとともに、漁港管理者である北海道と連携し漁港施設の整備に努めます。</p> <p>また、小樽らしい水産加工品の商品開発やブランド化を図るとともに、地産地消の推進や小樽の知名度を活用した水産物の普及活動を行い、消費拡大に努めます。</p>		
市民アンケート 指標	小樽の水産物であることを意識して商品を選択する市民の割合	基準値	目標値
		49.7%	基準値より増

■ 施策の内容(小施策)

(第7次総合計画 基本計画 P.96～97)

小施策 及び 指標	(1) つくり育てる漁業・資源管理型漁業の推進		基準値	目標値
	指標	放流魚種の漁獲量	724t	800t
	(2) 漁場環境の保全・漁業基盤の整備		基準値	目標値
	指標	小樽沿岸の漁獲量	3,853t	3,900t
		トド等海獣による漁業被害額	61,421千円	55,300千円
	(3) 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進		基準値	目標値
	指標	小樽水産加工グランプリ出品数	12品	20品
指標	小樽のおさかな普及推進委員会HP閲覧数	40,000件	50,000件	

令和4年度 行政評価調書

■施策の評価(一次評価)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)					
施策名	3-2 水産業					
所管部	産業港湾部	関係部	なし			
市民アンケート 指標	小樽の水産物であることを意識して商品を選択する 市民の割合	基準値	令和3年度	令和5年度	目標値	
		49.7%	51.4%		基準値より増	
市民アンケート 指標の推移	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指標		基準値	実績値	推移	目標値
	(1)	放流魚種の漁獲量	724t	616t	△	800t
	(2)	小樽沿岸の漁獲量	3,853t	3,308t	△	3,900t
		トド等海獣による漁業被害額	61,421千円	24,500千円	◎	55,300千円
	(3)	小樽水産加工グランプリ出品数	12品	12品	△	20品
小樽のおさかな普及推進委員会HP閲覧数		40,000件	45,446件	◎	50,000件	
指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)						
【一次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	B-1	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う			
総評及び今後の 具体的方針 ほか特記事項	各施策について概ね順調に指標は推移しているが、漁獲量は年ごとに変化するため不安定である。稚魚放流事業や小樽水産加工グランプリなど一部施策については改善の余地があるため、関係各所と連携し事業改善を実施し、その他の事業については現状を維持しながら事業実施を継続していく。					

■有識者会議による点検 (対象 非対象)

点検結果	
------	--

■施策の評価(二次評価)

【二次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	B-1	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
上記特記事項	◎各指標の推移等は、一次評価のとおりと考える。 ○水産加工グランプリ商品の積極的PRや、施策3-4「工業・企業立地」における地場産品の販路拡大などの取組と連携した、小樽産水産物の情報発信や販路拡大の取組を推進すること。また、販売店における小樽産品であることの表示拡大も検討すること。		

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(1)つくり育てる漁業・資源管理型漁業の推進

(第7次総合計画 基本計画 P.96)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
	放流魚種の漁獲量		平成30年		724t	800t	
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	434t	879t	616t		
主な取組	<p>◎栽培漁業技術の向上への支援(産業港湾部農林水産課) ★ウニ、アロビなどの種苗放流と、ニシンなど稚魚の放流やホタテ、ナマコの種苗生産など、栽培漁業、養殖漁業の推進(産業港湾部農林水産課) ○水産物の安定供給のための資源管理の支援(産業港湾部農林水産課)</p>						
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① 浅海増養殖振興対策事業費補助金(3158)		② 126 千円		③ 産業港湾部農林水産課	
		④ 小樽市漁協が行うナマコ種苗生産に対する補助					
		⑤ 令和3年度はすべて種苗が死滅し、養殖失敗に終わった。また、若手漁業者が自ら行う事業に対し支援することにより漁業者育成を企図した。					
	2	① 日本海北部ニシン栽培漁業事業費補助金(813)		② 200 千円		③ 産業港湾部農林水産課	
		④ 日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会が行うニシン放流事業の小樽市漁協負担金の一部を補助するもの					
		⑤ (社)北海道栽培漁業振興公社 羽幌事業所で生産したニシン稚魚147,000尾を市内4か所で放流した。					
	3	① 北海道栽培漁業振興公社負担金(803)		② 50 千円		③ 産業港湾部農林水産課	
		④ 北海道栽培漁業振興公社が実施する、ヒラメ、ニシン等の種苗生産にかかる負担金					
		⑤ (社)北海道栽培漁業振興公社 羽幌事業所で生産したヒラメ稚魚24,600尾を塩谷漁港で放流した。					
	4	① 日本海さけ・ます増殖事業協会負担金(804)		② 1,943 千円		③ 産業港湾部農林水産課	
		④ 日本海さけ・ます増殖事業協会が実施するさけ・ます種苗生産及び放流にかかる負担金					
		⑤ 日本海さけ・ます増殖事業協会京極ふ化場で生産したサケ稚魚600,000尾を市内3か所で放流した。					
	5	①		② 千円		③	
		④					
		⑤					
	6	①		② 千円		③	
		④					
⑤							
指標推移の要因等	年度ごとに増減はあるが、対象魚種の継続的な放流による一定程度の成果であると考えられる。						
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 必要に応じて補助対象魚種を見直しつつ取組を継続する。						
指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
	1	1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う ・栽培漁業技術の向上への支援という観点から、補助対象魚種は必要に応じて随時見直ししていく。					

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(2)漁場環境の保全・漁業基盤の整備①

(第7次総合計画 基本計画 P.97)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	小樽沿岸の漁獲量		平成30年		3,853t	3,900t		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	3,331t	4,511t	3,308t	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)		
主な取組	<p>★沿岸漁業における藻場などの環境保全対策への支援(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○漁船やプレジャーボートなどの海難事故防止対策及び救助活動への支援(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○漁業従事者の担い手育成及び新規就業者への支援(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○漁港管理者と連携した漁港施設の整備(産業港湾部農林水産課)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 水産多面的機能発揮対策事業費負担金(2770)		② 294 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 小樽沿岸の藻場の地域資源の維持及び回復を図る。また、漁場環境の保全・漁業基盤の整備を図る。						
		⑤ 市内3協定組織で、藻場の保全・水域監視等の事業を行った。						
	2	① 北海道海難防止・水難救済センター負担金(796)		② 351 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 海難防止に関する企画立案・啓もう広報・調査研究・機器開発、関係機関との連絡調整、水難救済に要する資材の整備、功労者の表彰などを行う団体への負担金						
		⑤ 海難発生時における出勤費用に対する負担金支出などを実施、北海道全体で19回出動した。						
	3	① 漁業従事者の担い手育成等の支援		② 一 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 若手漁業者が行う事業(小樽市漁協が行うナマコ種苗生産)に対する支援。浅海増養殖振興対策事業費補助金として実施。						
		⑤ 若手漁業者が自ら行う事業(ナマコの放流等)に対し支援することにより漁業者育成を企図した。						
	4	① 北海道漁港漁場協会負担金(820)		② 47 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 漁港漁場整備事業等の推進、維持管理に関する調査研究、関係当局への建議陳情全国漁港協会及び関係諸団体との連絡調整等を行う団体への負担金						
⑤ 市内3漁港整備の推進に寄与、具体の整備として祝津漁港港内浚渫、塩谷漁港港内浚渫、忍路漁港グレーチング補修などが実施された。								
5	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
6	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
指標推移の要因等	漁獲量の向上には、対象魚種の資源だけではなく、漁港漁場環境の改善も大きな要素になる。市内3漁港の整備は少しずつではあるが進捗しており、漁獲量安定に寄与しているものと考えられる。							
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 令和3年度の取組を継続する。							
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>							
	1	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う ・引き続き漁港漁場環境の改善を進める						

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(2)漁場環境の保全・漁業基盤の整備②

(第7次総合計画 基本計画 P.97)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	トド等海獣による漁業被害額		平成28年～30年平均		61,421千円	55,300千円		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			31,528千円	38,920千円	24,500千円			
指標推移	◎	◎ :指標の推移は順調 △ :指標の推移は順調でない - :判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)					
主な取組	★トド等海獣や海洋汚染などによる漁業被害対策への支援(産業港湾部農林水産課)							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① トド被害防止対策事業費補助金(2456)		② 0 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 小樽市漁協が実施主体となり、漁業被害の増加を防ぎ、魚類資源の保護を図るため、トド駆除や追い払いを実施する事業に対する補助						
		⑤ 追い払いの実施、駆除22頭(令和3年度)						
	2	① 小樽地区密漁防止対策協議会負担金(806)		② 41 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 海上保安部警察等関係機関の協力のもと、啓蒙普及、漁場監視員制度の充実、取締機関との連絡、通報の緊密化を実施するとともに、密漁監視員の活動を支える団体に対する負担金						
		⑤ 小樽地区計4か所に密漁防止啓発立看板を設置した。						
	3	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	4	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	5	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	6	①		② 千円		③		
		④						
⑤								
指標推移の要因等	トド来遊数の増減もあるが、無線機器整備による通報体制の確立など、これまでの取組により効果的な出動態勢が整備されてきたことが要因である							
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 令和3年度の実績を継続する。							
指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>							
	1	1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う トドや密漁による漁業被害は、漁具・漁獲物の被害に留まらず、漁獲量減少や休漁などにも及び、被害額は多額になることから、今後も事業継続していく						

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(3) 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進①

(第7次総合計画 基本計画 P.97)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
		小樽水産加工グランプリ出品数		平成30年		12品	20品	
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			-	-	12品			
指標推移	△	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)					
主な取組	★ 地元水産加工品のブランド化の推進及び販路拡大、商品開発の促進(産業港湾部農林水産課)							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 水産物ブランド化推進事業費(2233)		② 1,665 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 小樽の地魚や水産加工品を広く宣伝することによる知名度アップと消費拡大の促進及び水産加工品の新商品開発やブランド化を図る。(小樽水産加工品ブランド推進委員会に補助)						
		⑤ コロナ禍の影響により、令和2年度に開催予定だった「第4回水産加工グランプリ」を令和3年度に開催し、出品された商品12品の中から、金・銀・銅の3賞を選出。同グランプリのPRも兼ねて、グランプリ後に受賞商品の販促活動を実施した。						
	2	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	3	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	4	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	5	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	6	①		② 千円		③		
		④						
⑤								
指標推移の要因等	・出品数: 第1回(21品)、第2回(15品)、第3回(12品)、第4回(12品) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業者がグランプリへの商品出品を断念したことも一因となっている。							
令和4年度の取組状況	< 指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等 > 次回のグランプリ開催予定は令和5年度のため、令和4年度は第4回受賞商品のPR活動を行うと同時にその他水産加工品の販促活動も実施する。また出品商品数の増加の一助となるよう過去の受賞商品も含め、積極的展開を実施しグランプリの知名度向上にも取り組む。							
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	< 指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針 >							
	1	1: 各事業をこのまま継続して推進する 2: 予算事業等を改善しながら推進する 3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う ・グランプリ実施にあたっては、今後の出品数を見て、開催内容等について見直しを検討						

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(3) 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進②

(第7次総合計画 基本計画 P.97)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	小樽のおさかな普及推進委員会HP閲覧数		平成30年		40,000件	50,000件		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			48,413件	53,250件	45,446件			
指標推移	◎	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)					
主な取組	<p>★「小樽の水産物」のファンづくりの推進及び多様な媒体による水産物の情報発信、地産地消の推進(産業港湾部農林水産課)</p> <p>○公設水産地方卸売市場の市場機能の維持(産業港湾部公設水産地方卸売市場)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 水産物の情報発信		② 一 千円		③ 産業港湾部農林水産課		
		④ 小樽で水揚げされた旬な魚や、小樽水産加工グランプリ受賞商品をはじめとする水産加工品など、小樽の水産の魅力をホームページなどで情報発信し、イベントや物産展でのPR活動などを通じ販路拡大・消費拡大につなげる。						
		⑤ 群衆の様子など漁組などの協力を得て撮影し積極的に情報発信するとともに、小樽の水産加工品等を紹介するなどした。また、これらの情報が更新されていることをFacebookと連動させ紹介した。(トピックス数7件、今月のイチオシ3件など)						
	2	① 公設水産地方卸売市場・施設維持補修費(01557)		② 5,076 千円		③ 公設水産地方卸売市場		
		④ 公設水産地方卸売市場の施設の延命化を図り、市場機能を維持するため、維持補修を継続的に行う。						
		⑤ 施設維持補修費(各年度、主に重量シャッター、オーバースライダー、トラックスケール補修を実施) H30 4,968千円 R元 8,399千円 R2 6,077千円 R3 5,076千円						
	3	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	4	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	5	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	6	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	指標推移の要因等	旬の情報のほか、第4回小樽水産加工品グランプリ、小樽水産加工品フェアなどを提供し、Facebookについてもホームページと連携して随時更新したが、令和3年度のアクセス数は、前年度と比べて減少した。要因としては、コロナ禍の影響により、イベント(にしん祭り、しゃご祭りなど)の中止など提供できる情報ソースの減少があるものと考えられる。						
	令和4年度の取組状況	< 指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等 > 令和3年度の取組を継続する。						
	指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	< 指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針 >						
1		<p>1: 各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2: 予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・小樽の地魚や水産加工品の魅力を全国の方々に知ってもらい、地域経済の活性化につなげるよう情報発信を継続していく</p>						